



地元・日野高校の魅力アップに取り組む

日野高等学校魅力向上コーディネーター

を紹介します

鳥取県立日野高等学校と地域をつなぎ、魅力向上を図る

「日野高等学校魅力向上コーディネーター」に、
片平誓子さん（米子市）が採用されました。

子どもの数の減少など、入学者の募集定員割れで、将来的に学校の存続が危ぶまれることが考えられる中で、日野高校と地域をつなぐ架け橋として、米子市の片平誓子さんに、9月16日、町役場で辞令が交付され、県内初のコーディネーターが誕生しました。

片平さんは、日野高校の学習カリキュラムを魅力あるものとするため、日野高校と日野郡各地域・各団体および日野郡3町の要望などをくみ上げ、日野高校の魅力化・活性化にかかる事業の企画・運営・補助などの活動を通して、学校と地域のコーディネートを行っていきます。

◆日野高等学校魅力向上コーディネーターとは

【目的】鳥取県立日野高等学校を地域の人材育成の拠点として生かすために、地域、郡内中学校、行政と連携し、地域が学校を支える体制づくり、生徒や保護者が望む進路を保障するための学習環境づくりを行います。

【これからの主な活動内容】（例）

- ・ 特色ある科目に応じた地域人材の発掘
- ・ 地域資源（自然、文化、人材、施設など）の有効活用検討
- ・ 特色ある取り組みによる高校生参加の地域交流イベントの企画
- ・ 日野郡内等企業における職場体験のマッチング
- ・ 学校活動などの情報発信

など

ふり仰げば、雄大な大山の南壁を背景に稲穂がそよぎ、見下ろせば瀬の中に大岩小岩を散りばめた日野川が、大地を潤しながらゆったりと流れる・・・大きな自然に抱かれたこの日野郡三町で、日野高校と地域をつなぐお手伝い役として働くことになりました。9月なかばに、日野町役場で辞令を交付していただき、三町の町長さんや副町長さん、日野高校の校長先生などから、地域を想う気持ち、町の未来についての夢、そして心豊かな住民の皆さんへの愛情こもったお話をたくさんお聴きし、この仕事を持つ大きな役割に、思いを新たにしているところです。

少子化、人口減少に伴う限界集落問題など、地方の中山間地が抱える問題は大きいといわれています。しかし、いわゆる「都市」で育った人々にとって、里地などの「田舎」は宝の山であふれているように見えます。豊かな自然、清らかな水、おいしい食べ物が豊富にあり、何より、人と人との温かなつながりが生活の原動力となっています。また、里地には日本人が長い間培ってきた多くの知恵が残されており、その一つ一つが、人類へのかけがえのない遺産となっているのです。この小さな里地には、大きな学びがたくさん詰まっている・・・ここへ来て、その事実を再確認しました。日野高校と地域のつながりを強くするために、日野郡三町の皆さまが持っているお知恵をどうぞ分けてやってください！

これから、この地でどんな出会いや出来事があるのか、ドキドキワクワクしています。皆さまのお宅にもお邪魔するかもしれません。その時は、ぜひ、気軽に話を聴かせてください。新しいつながりを、一緒に作っていきましょう！



日野高等学校魅力向上コーディネーター

かたひら せいこ

片平 誓子さん



たくさんの種類の本が並べられ小さな図書館に



好きな本を手にとって借りていました

図書館をもっと身近に

町図書館が「出前図書館」を開始

図書館から遠い人、なかなか図書館まで来られない人に本や資料を届け、図書館を身近に感じてもらうようと、町図書館が、9月から「出前図書館」を始めました。

出前図書館は、ひのっこ保育所、日野病院、町公民館に本を持ち込んで貸し出しするほか、読書相談なども行っています。

この日は、日野病院へ出かけ、外来患者や入院患者へ本の貸し出しなどを行いました。小説から編み物、写真集、園芸といった趣味の本から雑誌まで幅広い種類の本が並べられ、訪れた人は思い思いに本を借りていました。

本を借りた人からは「入院中、編み物しようと思っていたのでちょうどよかった」「本の字は小さくて読めないが、大活字の小説があり借りることができた」「借りたい本も取り寄せてくれるので助かります」といった声が聞かれました。

また、そのほかにも「あいきょう」の移動販売車に同行し、各地域でも出前図書館を行っており、今後、たくさんの人が気軽に本を楽しむ時間が増えそうです。

出前図書館の日程は、17ページの「文化センターだより」をご覧ください。



景山町長より記念品を手渡された巽さん



身振り手振りを交えた歌に来場者は聞き入っていました

本物に触れて豊かな感性を育てたい

0歳から3歳のためのアートスタート「歌子さんのはじめてのコンサート」

9月27日、ひのっこ保育所で、0歳から3歳児を対象に「歌子さんのはじめてのコンサート」が開催されました。これは、小さなときから本物にふれて豊かな感性を育てたいと、町内で活動する、親子でアートを楽しむ会（田口郁江会長）の主催で開かれ、当日は67名の親子などが参加しました。

歌子さんの素敵で柔らかい歌声と、普段目にすることがないさまざまな楽器の音色に、来場した人からは「月齢が低いですが、楽器の音に聞き入り、自然に体で感じているようでした」「子どもが楽器に興味津々で、楽器に触らせてもらって喜んでいました」といった声が聞かれ、楽しいひとときを過ごしたようでした。

いつまでもお元気で

高齢者に敬老記念品の贈呈

町内の高齢者の長寿を祝おうと、9月16日、景山町長が高齢者宅を訪れ、記念品を手渡しました。

今回、対象となったのは、満88歳を迎えられた49人と、満100歳を迎えられた2人の計51人です。

このうち、満100歳を迎えられた中川秀好さん（黒坂）と巽てる子さん（根雨）には、内閣総理大臣から祝状と銀杯、町より記念品が景山町長から手渡され「これからお元気でお過ごし下さい」とのメッセージが贈られました。